

日本語で大丈夫！

訪日外国人に使ってみたい！ やさしい日本語研修会



○訪日外国人観光客への対応において、言葉が大きな壁となっていますが、簡単な日本語が通じる外国人観光客に出会うこともしばしばあります。

○2016年12月の国際交流基金・電通共同調査発表によると、台湾・香港・韓国の日本語学習者は推定800万人もいます。いずれの地域も、日本を訪れたときには日本語で話したいと思う日本語学習者が60%以上との結果が出ています。<https://yasashii-nihongo-tourism.jp/2016/12/20/275>

○また、観光客の多様化が進むと、相手の母国語での対応が益々困難になることが予想されます。こうした中、訪日外国人観光客への対応において「やさしい日本語」を活用する動きが広がっています。本研修会は、普段使っている日本語が、どうすれば外国人が理解しやすい「やさしい日本語」になるのか、第一線で活躍する専門家に分かり易く御説明頂きます。お気軽に御参加ください。

日時:令和5年3月14日(火)14:00~15:30 オンライン開催 (Zoom)

対象:鳥取県内の宿泊施設、飲食店、土産物店、交通事業者、観光関連事業者等

講師:吉開 章(よしかい あきら)氏

参加無料



やさしい日本語ツーリズム研究会代表

電通ダイバーシティ・ラボ やさしい日本語プロデューサー

2010年日本語教育能力検定試験合格。政府交付金を得て2016年「やさしい日本語ツーリズム」企画を故郷の柳川市で実現。同時に「やさしい日本語ツーリズム研究会」を立ち上げ、現在代表としてやさしい日本語の社会普及に尽力中。著書に『入門・やさしい日本語』（アスク出版）、『ろうと手話 やさしい日本語がひらく未来』（筑摩選書）がある。メディア掲載、講演多数。

申込期限 令和5年3月7日(火)
内容の詳細、申込方法等は裏面を御覧ください。

WEBフォームからも
申込可能です



主な内容

- ☆訪日外国人対応における「やさしい日本語」の必要性
- ☆「やさしい日本語」を使用する際のポイント
- ☆「やさしい日本語」文例集を活用した外国人への対応方法

「やさしい日本語」について

- ・「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。
例) お食事は何時になさいますか？⇒ご飯は、いつ、食べますか？
どうぞおかけください。⇒座ってください。
- ・きっかけは、阪神・淡路大震災です。外国人被災者の中には、日本語が理解できず必要な情報を受け取ることができなかった人もいました。そこで、外国人に対しても迅速に災害などの情報伝達を行う手段として考え出されたのが「やさしい日本語」です。
- ・現在では、自治体での生活情報の発信や外国人観光客とのコミュニケーション手段として活用されるなど、取組が広がっています。

「やさしい日本語」研修会 申込方法

◎お申し込みは、以下①、②のいずれかの方法でお申し込みください。

【申込締切】令和5年3月7日（火）

①Googleフォームによる申込み

右のQRコードを読み取っていただき、フォームに必要事項を記載の上、お申し込みください。
課ホームページにも掲載しています。(<https://www.pref.tottori.lg.jp/308873.htm>)



②ファクシミリ又はメールによる申込み

以下の申込書に必要事項をご記載の上、ファクシミリ又はメールでお申し込みください。

(ファクシミリ) 0857-26-2164 (メール) kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp

◎当日の研修会のURLと資料は、お申し込みいただいたメールアドレス宛に3月10日（金）までにお送りします。

◎研修会資料と講演動画について、研修会開催後に閲覧を希望される場合は、団体名、氏名、資料送付先メールアドレスを記載して、メールで交流推進課（kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp）まで申し込んでください。

団体名			
参加者	氏名		メールアドレス
	氏名		メールアドレス
講師への質問等があれば記載してください			
担当者連絡先（電話）			

【問合せ・申込先】

鳥取県 交流人口拡大本部 観光交流局 交流推進課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

電話：0857-26-7595 ファクシミリ：0857-26-2164

電子メール：kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp